

平成 30 年（2018 年） 2 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 1 日 目 ）

平成 30 年 2 月 21 日（水）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 学校教育について	(1) 通級指導教室について 平成 30 年度から高校にも「通級指導」が導入される。那覇市には現在、小学校に通級指導教室が 6 校設置されているが、中学校にはまだない状況である。以下伺う ① 沖縄県内における小中学校の通級指導教室の設置状況を伺う ② 那覇市内の中学校への設置について状況を伺う (2) 学校における心肺蘇生法の指導について伺う ① 那覇市の小中学校における A E D の設置状況 ② 児童生徒への心肺蘇生法の指導の現状及び教職員への A E D 講習の実施状況
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 行政サービスについて	(1) 聴覚や言語等の障がいがある方への窓口での対応状況を伺う (2) 平成 30 年度当初予算で、那覇市の公式ホームページ再構築事業が新規で計上されている。政策説明資料によると目に障がいのある方でも利用することができるようになるとあるが詳細を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 災害弱者の 支援体制につ いて	(1) 平成30年度新規事業に「避難行動要支援者対策事業」がある。以下伺う ① モデル地区の単位について伺う。また、モデル地区設定の時期を含め本事業のスケジュールはどのようなになっているか ② 当事者を支える支援者づくりが急がれる。支援者向けの取り組みはどのように行うのか (2) 難病患者と小児慢性特定疾病児の大規模災害時時の支援体制について、難病患者数とその内の人工呼吸器装着者（在宅療養者）の数を伺う。また、現時点での対応を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	中 村 圭 介 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 観光行政について	(1) のうれんプラザ隣接地に観光バスの待機場、乗降場を整備することについて見解を問う (2) 待機場乗降場を整備する際には、国際通りの渋滞緩和に向けた施策や、歩行者を誘導する案内板の設置、案内が容易なパンフレットなど、利用しやすい環境づくり、土地勘のない人でもたどり着けるような配慮が必要になると考えるが、関係団体との連携と今後の対策を問う
		2 文化行政について	(1) 那覇市歴史博物館が所有する写真の借用承諾申請のここ数年の実績を問う (2) 那覇市歴史博物館が所有する写真について、パブリックドメインも視野に入れたオープン・ライセンス化を検討してはどうか見解を問う (3) 市政 100 周年に向けて広く市民から那覇市の写真を集め、那覇市民共有の財産として気軽に活用できるようにしてはどうか、見解を問う
		3 公民館について	(1) 求められる役割が広がってきた公民館の役割をどのように認識しているのか、見解を問う (2) 地域課題に対して、市長部局とどのように連携しているのか問う (3) 現在、直営の公民館で「事業の企画実践」「地域の力で公民館を運営する」など地域の課題に取り組む講座を増やしてはどうか、見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 保健福祉行政について	那覇市保健センター、那覇市北保健センターの保健師が保健所に統合配置されることで当該地域の保健師による家庭訪問の件数が減り、結果的に民生委員にさらに頼らざるを得ない状況になるのではないかと見解を問う
		5 動物愛護行政について	パネル展資料の貸し出しなどの普及啓発活動を効率的にできるよう、企業等と連携協定を結ぶなど本市の広報部門と連携した取り組みができないか問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	下 地 敏 男 (ニ ラ イ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 公園行政について 2 高齢者介護サービスについて 3 動物愛護行政について 4 交通行政について 5 スポーツの振興について 6 財産権について	本市の公園は地域住民の憩いの場所として、また児童生徒の安全な遊び場でもある。以下伺う (1) 小緑地区におけるバスケット施設の現状について伺う (2) 小緑すみれ公園では、フェンス等で安全は確保されているか伺う 本市は地域の中で支えあい、高齢者がいきいきと、安心して暮らせるまちを基本理念に掲げて日々取り組んでいる 今定例会に特別養護老人ホーム等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について条例の一部を改正する条例が提案されている 同条例第 23 条の 2「緊急時等の対応について」に関する特別養護老人ホーム等の救急体制はどうなっているか伺う 那覇市における犬・猫のふん尿等による地域環境被害の現状について伺う 自動運転バスの導入は市民の暮らしの交通アクセスの利便性を高める。ゆいレールや建設が予定される新文化芸術発信拠点施設への効果的な利用、市内の交通渋滞の緩和、環境改善等そのメリットは大きい。導入に向けた市当局の見解を伺う 冬のオリンピック、平昌（ピョンチャン）オリンピックが開幕し、選手の活躍が連日放映されている。子ども達や一般のスポーツに対する夢が一層増す。本市のスポーツ支援の現状を伺う 本市の有する無体財産権の種類、保管等について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	我如古 一郎 (日本共産党)	1 那覇市の財政について	(1) 新年度予算は、学校や市営住宅の建て替え・耐震化推進、子育て支援、経済振興など、市民の暮らし福祉を充実し、那覇の発展のための予算として、評価している。主要事業の予算合計額を、5つの都市像に沿って問う (2) 一般会計での市債残高と健全化判断比率の改善状況について問う
		2 環境行政について	(1) 本市のごみ処理の状況を問う (2) クリーンセンターは 2017 年から 5 年間、基幹的設備改造工事を行っている。総費用を問う (3) 本市のごみ減量の課題を問う (4) 環境教育の実施状況を問う
		3 骨髄移植ドナー支援事業について	(1) この制度の全国での実施状況と県内骨髄バンク登録ドナーの数、提供ドナーになれる比率を問う (2) 休業補償を制度化していない民間企業への普及啓発の意義について問う
		4 道路行政について	(1) 那覇市道真地 7 号の路面滑り止め舗装の改修について問う (2) 県道 222 号線識名園近くで、真地 43-4 番地付近の道路の拡幅と歩道の整備について県の計画を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	多和田 栄子 (ニ ラ イ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 新 B O P 事業について	新 B O P 事業とは、放課後子ども教室と放課後児童クラブを合体させたものである。東京都世田谷区において新 B O P 事業として公立で運営されている。B O P とは、Base of playing の頭文字をとって B O P と呼んでいる。導入の経緯は、小学校の校庭開放、異年齢児の交流、健全育成を図る目的で設置されている。そこで以下伺う (1) 本市における放課後子ども教室、放課後児童クラブの設置はどのようにになっているか。見解を伺う (2) 放課後児童クラブ数が平成 27 年度と比較して伸びているが、受け入れるための放課後児童クラブの整備はどのように進められているのか伺う (3) 学校の余裕教室及び敷地を利用した放課後児童クラブを年次的に進めるべきだと思う。取り組みについて見解を伺う
		2 空き家対策について	本市において、平成 29 年度から空家等条例がスタートしている。長期にわたり、放置された空き家が市内至る所にあり、空き家は防災・環境衛生・景観等の観点から地域住民に深刻な影響を与え、社会問題となっている。誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを進める必要がある。そこで以下伺う (1) 本市で空き家と把握されているのは何軒か (2) 空家等条例に照らし、倒壊等危険と思われる空き家はどのように措置されているか (3) 防災・環境衛生・景観等政策課題に対して各課の連携はどのようにになっているか
		3 上下水道整備について	石嶺町四丁目の雨水調整池整備事業の進捗状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	大 山 孝 夫 (自 民 党)	1 統合医療について	(1) 那覇市における統合医療の推進状況 (2) 今後の那覇市における統合医療の展開
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 天皇皇后両陛下の行幸啓について	(1) 天皇皇后両陛下行幸啓における那覇市長の見解 (2) 天皇皇后両陛下行幸啓の那覇市としての対応
		3 拉致問題について	那覇市職員が「ブルーリボンバッジ」をつけなかった理由について
		4 市民生活について	市民のお悔やみ情報の提供について
		5 防災体制について	来年度から予定される防災危機管理課の「地域防災マネージャー」制度の利活用及び人員配置について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	西中間 久枝 (日本共産党)	1 福祉行政について	(1) 新規・避難行動要支援者対策事業について ① 那覇市災害要援護者避難支援計画の概要と、それとの関連について ② 那覇市災害要援護者避難支援計画の対象者はそれぞれ何人か ③ 避難行動要支援者対策事業の概要と効果について (2) 軽度知的障がい者への支援の充実について ① 療育手帳 B 2 所持者と受給者証が発行されている人数 ② 受給者証が発行されている方で 18 歳以上のサービス利用者の内訳 ③ 女性相談の対応を充実すべき (3) 沖縄県身体障害者スポーツ大会に参加する、那覇市選手団への支援について 那覇市選手団の参加人数及び競技成績について伺う
		2 都市計画道路について	(1) (首里)大中町内細部街路の経緯を問う (2) (首里)大中町内細部街路の、これからの計画について問う
		3 公園行政について	首里寒川町にある、寒川緑地の整備について、見解と対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 文化行政について	琉球文化の殿堂「御茶屋御殿」は、平和発信の殿堂としても歴史的に非常に価値のある沖縄の宝である。その復元へ向けた取り組みについて以下伺う (1) 平成 28 年に実施した跡地の一部を測量した事業は、どの様な経緯で実施されたか (2) 跡地の国文化財登録の申請は、事業形態が決まらないとできないのか (3) 直近で開催されたワーキンググループでの議論の内容を伺う
		2 水産行政について	泊魚市場、泊いゆまちは、本市のみならず県の水産業の振興発展に大いに寄与してきた。更なる発展を目指して行政支援を含め、今後の計画が大変重要になるが、本市の取り組みについて以下伺う (1) 泊漁港の行政管轄、運営・管理は、どこが担っているか (2) 水産業の振興発展に対する本市の基本的な考えについて (3) これまでの支援事業と今後の取り組みについて
		3 交通安全行政について	県道 82 号線・那覇糸満線（環状 2 号線）の末吉四丁目と松島小学校・市立病院の間には横断歩道・信号機が設置されているが、坂道のため車両速度が速く、度々危険なケースが見受けられる。歩行者が横断する際の安全確保の要望が上がっているが、その対策について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（1日目） 平成30年2月21日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 施政方針について	「互いの幸せを地域と福祉で支え合い誰もが輝くまちNAHA」の中で高齢者がより、身近な地域で医療及び介護などのサービスを受けられる「地域包括ケアシステム」を推進するため、地域包括支援センターを12カ所から18カ所に増設するとある。その取り組みについて伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 小中一貫教育について	2020年には、新学習指導要領が変わる。外国語活動が小学校(3年、4年)から導入され、英検3級(中学3年)の目標値がある 本市としても小中一貫教育として、英語の学力アップとしての取り組みと今後の方針について伺う
		3 教育行政について	(1) ICT教育環境整備はICT社会に対応する「生きる力」を身に付けることは、重要である。今年4月1日より、小学校5学年に電子黒板が設置される。設置状況と現第6学年の電子黒板とは機種が違うのか伺う (2) 小中学校でのICT教育環境整備は「那覇市教育情報化推進計画」(平成28年度～平成32年度)に基づいて、平成32年度までに推進される。学校現場で教師が電子黒板・タブレット端末等の活用授業を安心して児童への授業をする為のICT支援員の配置について伺う
		4 環境行政について	(1) ごみ処理施設「那覇・南風原クリーンセンター」でのごみ焼却による売電の状況について (2) 市内から出る草木の焼却について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 新高機能消防指令システムについて 6 上下水道行政について	(1) ドローンの導入について (2) 「NET119」緊急通報システムについて 大名小学校通学路の雨水路が古く、児童やお年寄りによるつまずきによる転倒による事故が発生するおそれがあり、毎朝の交通指導ボランティアの方から以前から早急に上蓋の取り替えをしてもらいたいとの声がある。蓋の取り替えについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 30 年 2 月 21 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	喜舎場 盛三 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 上下水道行政について 2 道路行政について 3 障がい者福祉について 4 福祉行政について 5 医療的ケア児について	県は、観光客 1,000 万人を目指して様々取り組んでいるが、本市にかなりの人が滞在する事になると、水資源は十分なのか。また大量の汚水も排出されることになるが、本市の汚水を処理している県の処理場の能力は十分なのか伺う 国は各自治体に、橋りょうの点検を 5 年に一度実施するように義務付けているが、本市の点検の状況を伺う 障がい福祉サービスを受けていた方が、65 歳になると、介護保険サービスを受けることになって、サービス内容が低下する場合があるようだが、対応を伺う 平成 28 年の 2 月定例会で提案した、発達障がいなどの特性により日常生活の様々な場面で、上手くコミュニケーションが取れない方をサポートするツールである「サポートカード」が配布される事になったが、多くの市民に周知して頂くため、どのように取り組んでいくか伺う 2016 年「障害者総合支援法」が公布され、改正児童福祉法により医療的ケア児に対し適切な支援を行うよう努力義務を地方公共団体に課している (1) 本市の小中学校における医療的ケア児の状況を伺う (2) 学校では、医療的ケア児にどのように支援しているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 教育行政について	(1) 本市の小学校におけるいじめの認知件数は、平成 27 年 327 件に対し、平成 28 年 4,948 件と極端に増加しているが、平成 29 年はどうか伺う (2) 平成 28 年に 4,948 件になった理由は理解しているが、その数を受けて、平成 29 年度はどのように取り組んだか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長